



- 津軽びいどろ工場見学
- 青森刑務所参観
- 東欧日報社本社見学

# 県内視察研修

2024.09.03(火)



# 日程表

10:55 ○集合・出発

11:15 ●津軽びいどろ工場見学・買い物

↓  
住所：青森市富田4丁目29-13 北洋硝子（株）  
12:00 伝統工芸品の製作過程を目にすることで、技術や技法がどのように使われ伝統工芸が作られているのかを学び、理解を深めることを目的とします。

12:10 ○昼食

↓  
13:10

13:30 ●青森刑務所参観

↓  
住所：青森市荒川藤戸88  
15:00 犯罪の予防と抑止、更生プログラム等について理解することを目的とします。

15:15 ○東欧日報社本社見学

↓  
住所：青森市第二間屋町3丁目1-89  
16:15 新聞の製作過程や新聞社の業務について学び、新聞の信頼性や報道の在り方について理解を深めることを目的とします。

16:25 ●終了・解散



## 津軽びいどろ 工場見学

ベテラン・若手ともにどの職人も誇りを持って仕事に向かう姿勢が素晴らしかったです。  
J A おいらせ 織笠祥子



津軽びいどろ工場見学、伝統工芸で作品作りを間近で見ることができ感動した。

J A 青森 西塚 育己



ガラス製品作りの風景。長棒に付けて軍手もしているとはいえ、熱されて真っ赤になったガラスを大人数でいる中ホイホイ持って歩いたり半袖Tシャツ姿で作業していたりするのは、おっかないと思うと同時に職人の慣れというものを感じました。

J A つがるにしきた 梶浦 薫乃



「津軽びいどろ」は私も好きで何個か持っていますが、どんな風に作られているのかとても興味がありました。工場の中はとても暑く、その中で職人さん達が伝統のあるガラス作品を一生懸命作っていました。テレビなどで見る風景を生で見て映像との違いに感動しました。

J A つがるにしきた 石田 美菜子

## 青森刑務所 参観



刑務所内を見学できることを知らなかったのも、今回の研修はとて興味深いと感じていました。犯罪の防止と抑止、更生プログラム等について理解することができました。

J Aおいらせ 佐藤 愛弓

刑務所の中が印象に残っています。作業している方や、生活する部屋を見て、圧倒された。すごく貴重な体験ができました。

J Aつがる弘前 長尾 瑠花



貴重な経験で今回一番ためになりました。法改正や時代の変化への対応が難しいと思いますが、社会復帰・再発防止に向けた取り組みを理解し、協力できることは少しでも協力したいと思いました。

J Aおいらせ 織笠 祥子



# 東奥日報

## 東奥日報社 見学



東奥日報社の見学が印象に残りました。日常生活では朝に普段みている新聞が、どのように作成されているかの製作過程を知ることができ、とても貴重な経験をさせてもらいました。

J A つがるにしきた 山下 広勝



紹介が分かりやすく、クイズなど取り入れながらの説明は J A 紹介をする場合に参考にできそうです。

J A おいらせ 織笠 祥子



東奥日報社で、県内約59万世帯ある中で発行部数が18万3000部と半分以下であることが印象に残った。

J A つがるにしきた 成田 信悟



新聞ができるまでについて、記者や編集以外の部分(刷り版や輪転機やロール紙)について間近で見ることができたこと。様々な情報が掲載されている紙面を、今後しっかり見ていきたいと思った。

J A 相馬村 石田 有希子

# 県内視察研修会の感想

今年の視察研修は、個人的にとっても楽しみにしていた内容でした。

一番印象に残ったのは青森刑務所でした。受刑者が実際に作業をしている様子を近くで見学したときは少し緊張しました。刑務所内を歩いての見学になるので、女性部員には少し大変なのかなと感じました。

びいどろ工場も職人が一つ一つ手作業で作品を製作している工程を見ることができるのでとても面白かったです。

今回の見学先は研修先の案として女性部に提案してみようと思いました。少人数でも楽しんでもらえるのではないかと思います。

J A 津軽みらい 藤田 茉倫



北洋硝子はその規模や技法により、全国的にも稀有な工場だと知ること、郷土の誇りにつながると考えました。また、刑務所では緊張感はありましたが、売店でのお買い物は女性部にもウケそうです。J A では日本農業新聞購読を推進していますが、新聞が手元に届くまでの工程を学ぶとして東奥日報見学はとても有効だと思いました。

今回の視察研修では階段の昇降が多かったので、女性部で研修をする場合には、歩ける班とエレベーター班に分けるなど、無理なく見学を進められる対応を事前に決めておくことが大切だと分かりました。

J A 相馬村 石田 有希子

青森刑務所参観では、近年猛暑の影響でとても暑い日が続きましたが、私の中では扇風機しかないと思っていましたが、刑務官の説明により廊下だけにはエアコンが設置されていると聞きました。

作業の様子はゆっくり見ることは出来ませんでしたが、受刑者のみなさんは暑い中、一生懸命作業をしていました。メンタル的にも強く、社会復帰に向けての意欲を非常に実感しました。

女性部活動でも一生懸命活動する意欲が増しました。

J A つがるにしきた 石田 美菜子



津軽びいどろ工場・青森刑務所・東奥日報社ともに、20人位の参加人数が丁度良いように感じた。（それ以上だと各社とも班編成などをして見学しなくてはならなくなる。）

#### 良い点

- ・津軽びいどろでは、実際の職人が作業しているところが見学できる点と、お土産が買える点。
- ・刑務所は、普段なかなか入ることがないので、一度は見学してみてよいと思った。また、売店があるのでお土産が買えたり、販売してる作品の品質が良い上に価格が安く、とても魅力的でした。
- ・東奥日報社は、新聞ができるまでの工程、輪転機などの見学が魅力的である。

#### 悪い点

- ・いずれの場所も、大人数での視察には不向きである。
- ・刑務所以外は、いずれの場所でも階段の上り下りが必須。
- ・津軽びいどろでの工場見学・買い物には1時間は時間が必要。

J A つがるにしきた 成田 信悟



青森市内で3カ所とも近距離ながら内容がとても充実した視察研修でした。

職員の研修に適していると思いました。女性部員での視察で考えると、受入側の注意事項を守ることができずに迷惑をかけてしまうのではないかと想像してしまいました。

今回のような参加した甲斐のある研修内容にするためにも、受入側の事情を参加者によく理解してもらい、移動などの工夫をして充実した視察を企画したいと思います。

J A おいらせ 織笠 祥子

コロナがおさまってきて、県内でも視察見学の受入をしてくれるところがこんな身近にあるんだと勉強になりました。近場でも十分楽しめました。ただ、女性部に活かすとなると収容人数や、会談の上り下り、歩く距離やスピードなど要検討箇所はありますが、バス代が高くなってるため県内の見学はいいと思いました。

J A 津軽みらい 村上 紀美子





正直言うと以前までガラスの工芸品にも新聞にも全く興味がなかったのですが、今回の視察研修に参加したことでそれらを見る目がからりと変わりました。

既に出来上がった製品だけを見るのではなく、それがどういう材料でどういう工程によって作られているのかを知るの、よりその製品に対する感動と愛着を生むと思います。

女性部の活動等においても、何を見学するにしても自分達で製作するにしても、この「過程に目を向ける」ということを大事にしていきたいです。

J A つがるにしきた 梶浦 薫乃

実際に使ったり、とても身近な津軽びいどろの見学が、すごく印象に残っています。

繊細な作業を近くで見ることができて、職人さんはすごいなあと思いました。

J A つがる弘前 長尾 瑠花

近場の視察もいいなと思いました。

見学できるかわからないので…

これもまた、女性部の近場などで活用したいなと思いました。

J A つがるにしきた 成田 美代子



最初に訪れた津軽びいどろ工場で感じたことは、熟練された職人さんの技をみて、完成された作品が自分が予想した以上に世の中に広がっている事に驚きました。

刑務所参観では1日の受刑者たちの流れを知る事ができ、又受刑者が作られた作品の展示作品をみて驚きました。

今後の女性部では色々なものづくりをする機会があったり、視察研修を得て、女性部を活性化させるよう頑張ります。

今回の視察研修は、テレビや雑誌などの情報でしか知らない事を、自分の目で見て、耳で聞いての貴重な体験をさせてもらいありがとうございます。

J A つがるにしきた 山下 広勝

青森県内でもまだまだ知らなかった見学地がたくさんあることを知る事ができとても良かったです。日帰り視察研修先の参考になりました。

東奥日報社の社食はおいしいいらしいので試してみたいと思います。

J A おいらせ 佐藤 愛弓

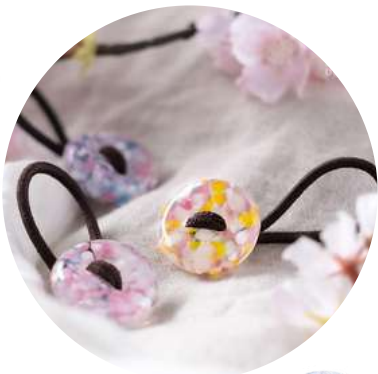


生活指導員連絡協議会の県内視察研修に、久しぶりに参加させてもらいました。津軽びいどろは、漁業用の浮玉を応用して作られるようになったガラス工芸だということを初めて知りました。吹き棹に巻き付けられた1200度にもおよぶ溶けたガラスを“宙吹き”という技法で息を吹き込み、ガラスなどに姿を変える様子は、見ていて圧巻でした。近年、色々なブランドとコラボをして、様々な場所で見かけることが多くなった津軽びいどろですが、伝統の技術の取得と、暑さに耐えることができる職人の情熱の賜物だと思いました。

受刑者の更生と社会復帰を支援する施設である「青森刑務所」。独特の空気感の中、見学をさせていただきました。決まった時間での労働や生活をする事で再び社会に適応するための厳しい管理がなされているのだろう、と感じると共に、刑務官からの“再犯率が高い”とのお話しに、何とも言えない気持ちになりました。

機会があれば、最後に見学した東奥日報本社も含め、女性部、特にフレッシュ部会の視察研修に取り入れたいと考えています。

J A つがる弘前 三橋 美幸



津軽びいどろに使用する色は100色以上あるとのこと、多様な作品に使われおりとても綺麗でした。お土産としてヘアゴムを購入しましたが、様々な色が混ざりあい賑やかなびいどろで、ガラスなのに重くなくてとても気に入ってます。

J A 青森 西塚 育己

